

AD セルフ サービス web パーツは AJAX 拡張する SharePoint web パーツです。この web パーツを使用してユーザーが自分の AD プロパティ情報を変更することが可能になります。管理者が行われた変更をトラックするために、電子メールの受信もログファイルも提供します。さらに、管理者はこの web パーツを利用できないユーザーと利用可能なプロパティを指定できます。

この web パーツの設定ページに、管理者は web パーツのレイアウトを構成できます；タブとプロパティを追加または削除でき、プロパティはどのタブの下に表示するのも選択できます。管理者も AD プロパティをそれぞれに編集可能、読み取り専用または隠しにします。アクセス可能なプロパティはテキストボックス（直接に入力欄に入力）、ドロップダウンリスト（管理者に手動で構成）、参照（他の SharePoint リストから情報を参照）といった三つのスタイルが表示されます。

ユーザーが自分の AD プロパティを変更すると、管理者または任意の指定されたユーザーが行われた変更の詳細についてのメールを受信できます。また、管理者が AD セルフ サービスから提供して、AD プロパティの変更概要についてのメールをいつでもチェックできます。

SharePoint サイトに AD セルフサービス web パーツの追加

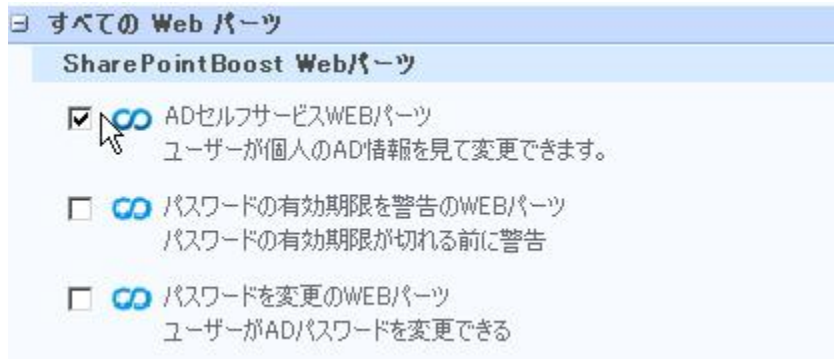
AD セルフサービス web パーツを追加したいサイトを開きます。サイトの操作メニューにこのページの編集をクリックしてください。



Web パーツの追加をクリックして、Web ページの追加—Web ページダイアログを開きます。



この Web ページの追加—Web ページダイアログに、SharePointBoost Web パーツセクションにの AD セルフサービス web パーツ前のチェックボックスをオンにし、追加ボタンをクリックします。AD セルフサービス web パーツはこのページに追加されました。



インストールして有効にすると、AD セルフサービスのリンクは全体管理にの

アプリケーション構成の管理ページの最下部に表示され、SharePointBoost ソフトウェア管理と名付けます。

SharePointBoost ソフトウェア管理

- AD Self Service の設定 (SharePointBoostによりご提供します)

このリンクをクリックして、全体管理にの AD セルフサービスの設定ページを開きます。



ユーザーまたはグループの除外

設定の最初のセクションにより管理者はこの web パーツにアクセスできないユーザーまたはグループを除外するようになります。こうして、管理者は共有なアカウントを使用する見習いさんまたはアルバイトさんを除外することで、AD プロパティの変更をより安全にします。

ユーザー/グループの除外

ADセルフサービスwebパーツにAD情報を見えませんかと変更できませんユーザーまたはグループを指定してください。

ユーザー/グループの除外

田中 順子



使用可能な AD プロパティの選択

次のセクションには、管理者はこの web パーツに使用可能なプロパティを選択できます。以前のバージョンからアップグレードする場合には、以前に使用されたプロパティは既定のプロパティとして表示します。

プロパティを含む

このweb パーツに追加できるプロパティを指定してください。

プロパティ:

メール:(mail)
IP電話:(ipphone)
WEBページ:(wwwHomePage)
オフィス:(physicalDeliveryOfficeName)
ファックス番号:(facsimileTelephoneNumber)
ポケットベル:(pager)
画像:(thumbnailPhoto)

表示名:

プロパティ名:

AD セルフサービスはよく使われる AD プロパティのリストを提供します。表示名を変更するには、管理者は一つの AD プロパティを選択し新しい表示名を入力して変更をクリックして確認します。新しいプロパティを追加するには、管理者は追加ボタンをクリックする必要があります。新しいプロパティの表示名とプロパティ名を入力できるポップアップ ウィンドウを開きます。さらに、管理者はプロパティを削除することも既定値に戻すこともできます。

電子メールで確認の設定


確認のための電子メールを受信するには、AD セルフサービス電子メールで確認前のチェックボックスをオンにします。電子メールのメッセージボックスは初期設定と変更時に、アクセス可能になります。

AD セルフサービス電子メールで確認
ユーザーがAD情報を変更した後で管理者に確認のために電子メールを送信。

電子メール本文

主題:

メッセージ



[現在のユーザー]は[現在の日付/時刻]に以下のADプロパティを変更しました。

[Default Message]

式の挿入 HTML 書式でメッセージを送信

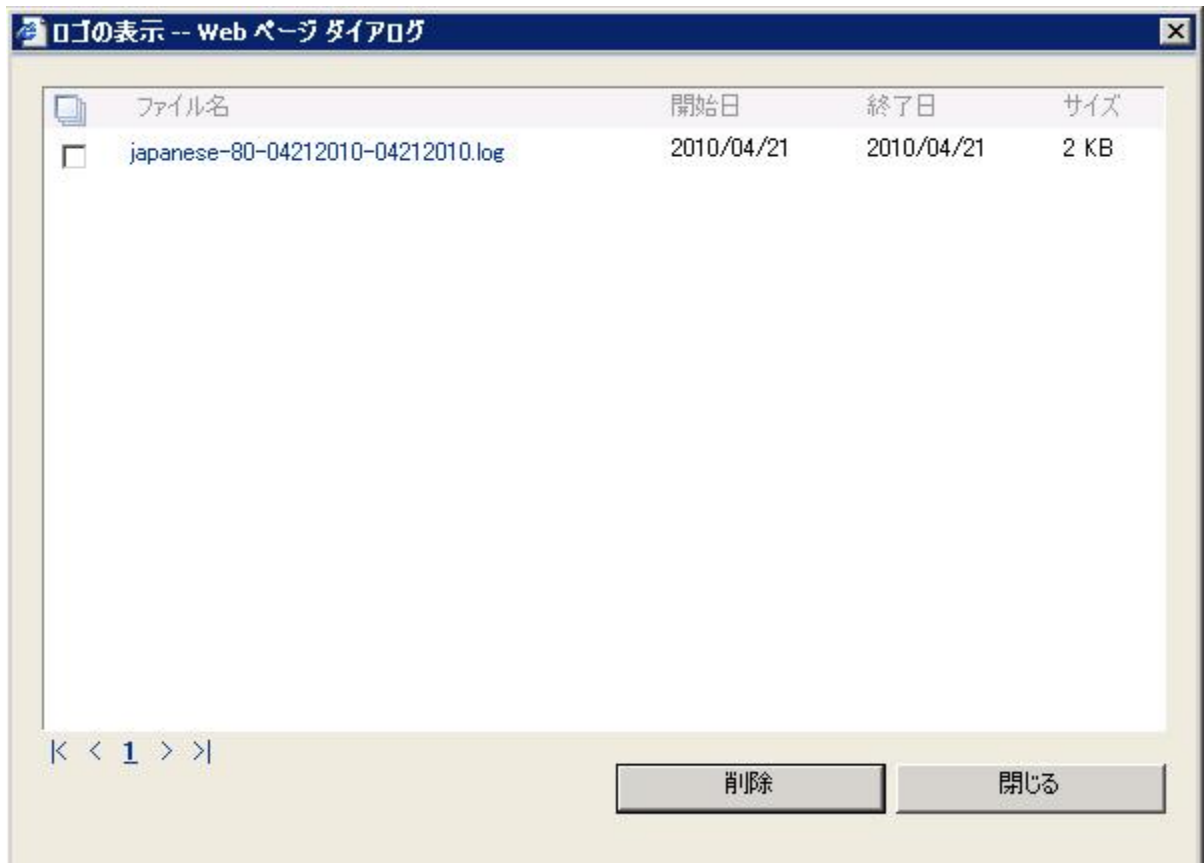
電子メールの受信者の指定:

受信人の電子メールアドレス(複数の場合には、コンマで区切って下さい):

まず、管理者は通知メールの主題を指定する必要があります。その後、メッセージを指定します。プレーンテキストとしても、HTML メッセージとしても送信して結構です。(HTML 書式はプレーンテキストより使用可能な書式オプションもっと多いのです。)

メッセージセクションに、管理者はメッセージの形式と内容を指定できます。自分の AD プロパティを変更したユーザーとか、変更した日刻とか、既定のメッセージとかメールの内容となれます。既定のメッセージ機能はすべての変更を要約する表を電子メールの正文に置きます。

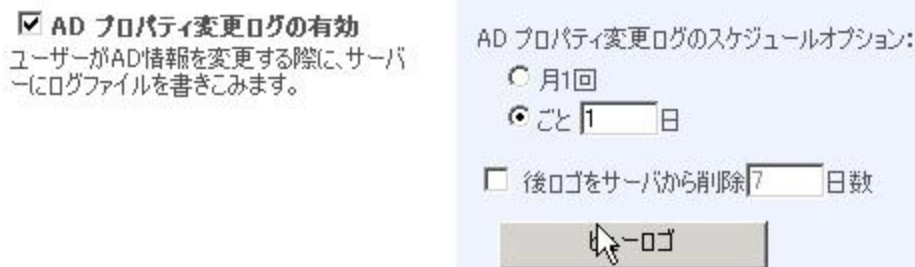
設定しておければ、管理者はプレビューボタンをクリックしてこれら設定をチェックします。



管理者は AD プロパティの変更についての電子メール受信人のアドレスを指定する必要があります。受信人は管理者、または部長、上司のような管理者が選択された任意のユーザーです。

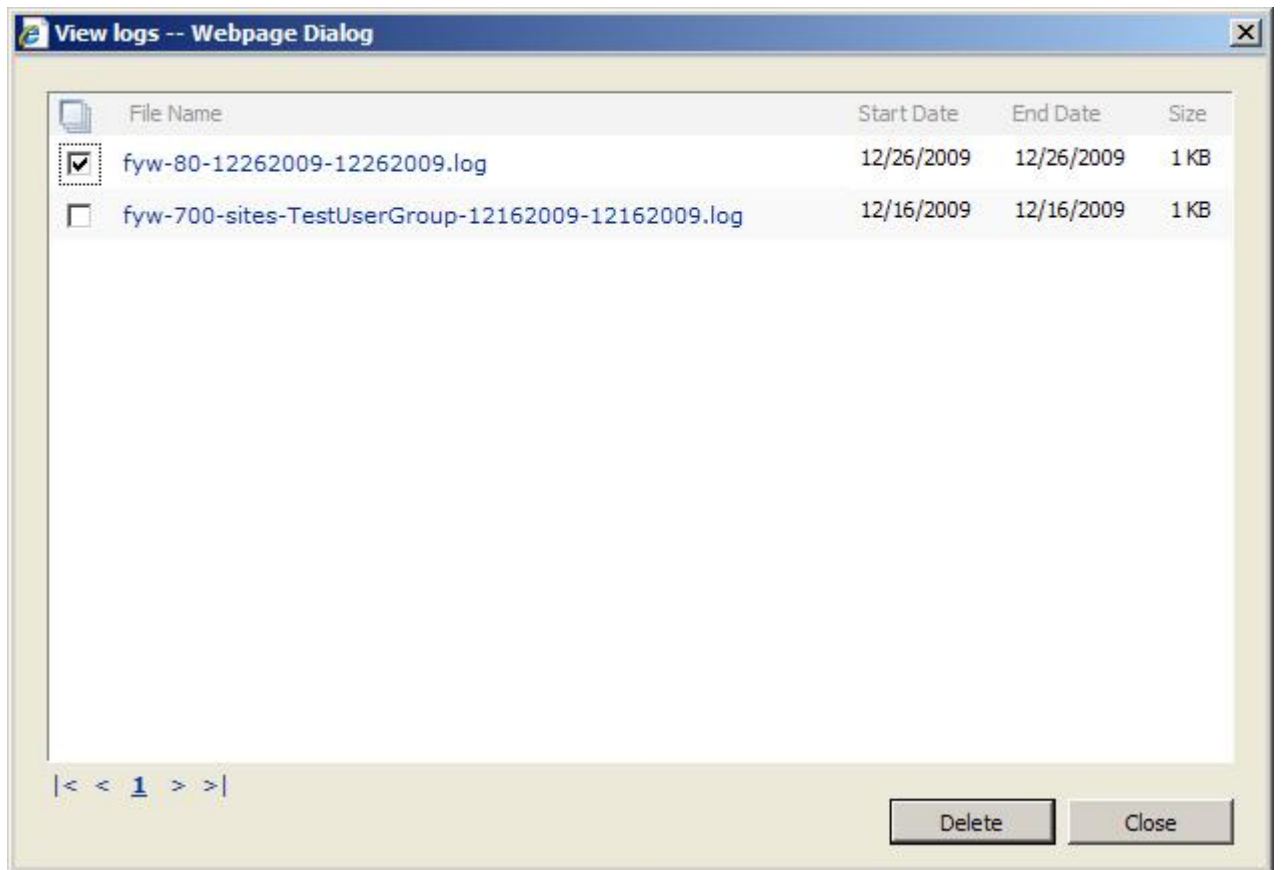
AD セルフ サービス ログの設定

AD プロパティ変更ログによって管理者が AD セルフ サービス ログ オプションをセットできるようにします。

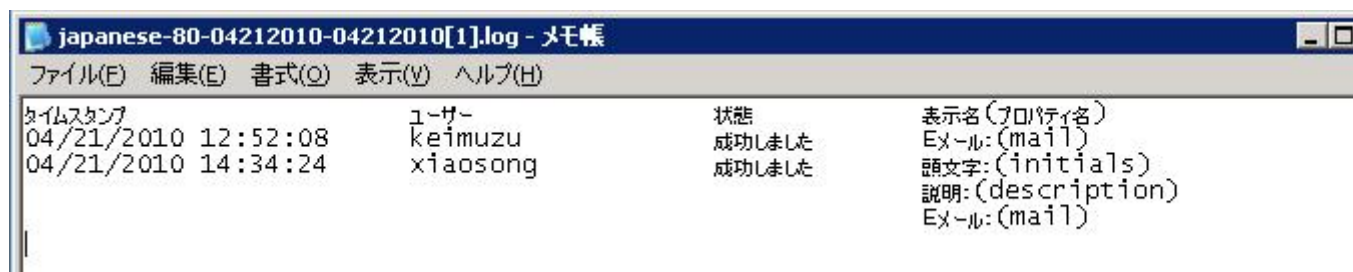


AD プロパティ変更ログのスケジュールオプションを使用して、新しいログファイルの作成頻度を指定できます。月 1 回または管理者に指定された数日後が設定されます。ログの削除チェックボックスをオンにすることで、ログは指定された日数後に削除されます。

ログの表示ボタンをクリックして新しいウィンドウを開きます。このダイアログにログファイルを閲覧、削除できます。



ログファイルは.log ファイルとして保存されます。ですから、メモ帳に編集されることができます。



AD セルフサービスカスタム SMTP 設定

最後のセクションで、管理者が SMTP サーバーの設定をカスタマイズできます。SMTP サーバーの設定は既に **SharePoint 全体管理に構成された場合には、ここで構成する必要はありません。**けれど、AD セルフ サービスを有効化したら、管理者は送信メールの設定をカスタマイズする場合には、これらの設定を変更するだけいいのです。

カスタムSMTP サーバを有効にする

SharePointサーバーの全体管理で送信メールの設定を既に構成したら、この設定を構成する必要がありません。カスタムSMTPサーバー設定を使用して通知メールを送信するのでなければ、構成してはなりません。

SMTP ドメイン名またはIP アドレス:

smtp.sharepointboost.com

ポート:

25

差出人の表示名: (この表示名は各通知メールの差出人フィールドに表示します)

ADプロパティの変更

差出人アドレス: (このアドレスは各確認のメールの既定の差出人アドレスとして設定します)

from@sharepointboost.com

返信先アドレス: (この電子メールアドレスは各通知メールの既定の返信先アドレスとして設定します)

reply@sharepointboost

既定の Windows ユーザーログイン資格情報を使用する

カスタムログイン資格情報を使用する

ユーザー名: from@sharepointboost

パスワード

●●●●●●

SSL接続を有効にする

テキストメールの送信


ドメイン名/IP アドレスも、表示名も、差出人のアドレスも、返信先アドレスもカスタマイズできます。管理者も既定の Windows ユーザーログイン資格情報を使用するかカスタム資格情報を使用するかを選択します。そして、SSL の接続も有効にします。

この Web パーツの編集モードで AD セルフ サービスの構成

AD セルフ サービス Web パーツを追加した後で、ツール ウィンドウを開きをクリックして、AD セルフ サービス へのアカウント情報を構成します。

ADセルフサービスのWEBパーツ

全般 住所 電話 組織

 nakamura

名前:

頭文字:

氏名:

ハンドルネーム:

説明:

事務所:

電話番号: その他...

Email:

WEBページ: その他...

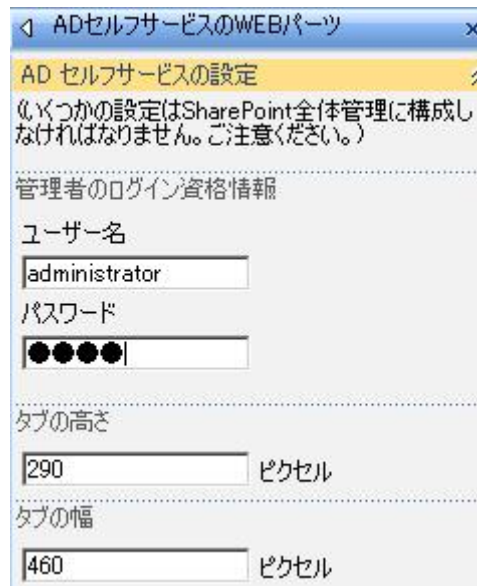
保存 キャンセル

ツール ウィンドウを開き ADセルフサービスを使用してアカウント情報を変更します。

ドメイン管理者のアカウント情報の入力

デザインまたはフル コントロール権限を持つユーザーのみがこの web パーツを追加、カスタマイズできます。ですから、これらの SharePoint 権限を持つユーザーのみがこの web パーツの設定ページにアクセスでき、この web パーツの設定とレイアウトを変更します。

AD セルフ サービス の設定ページに、ドメイン管理者らの一人のアカウントの資格情報を入力してください。このアカウントはユーザーの AD 情報を変更できます。ですから、このアカウントは SharePoint サイトコレクションのユーザーと異なります。



このアカウントはドメイン管理者ではない場合には、AD セルフ サービスに AD 情報について行われた変更は保存されできません。ご注意ください。

ADセルフサービスのWEBパーツ

編集 x

全般 住所 電話 組織

test1

名前: 中村次郎

頭文字:

氏名: 中村

ハンドルネーム: test1

説明:

事務所: 10-11-2

電話番号: 010-60407869 その他...

Email: shan@sharepointboost.com

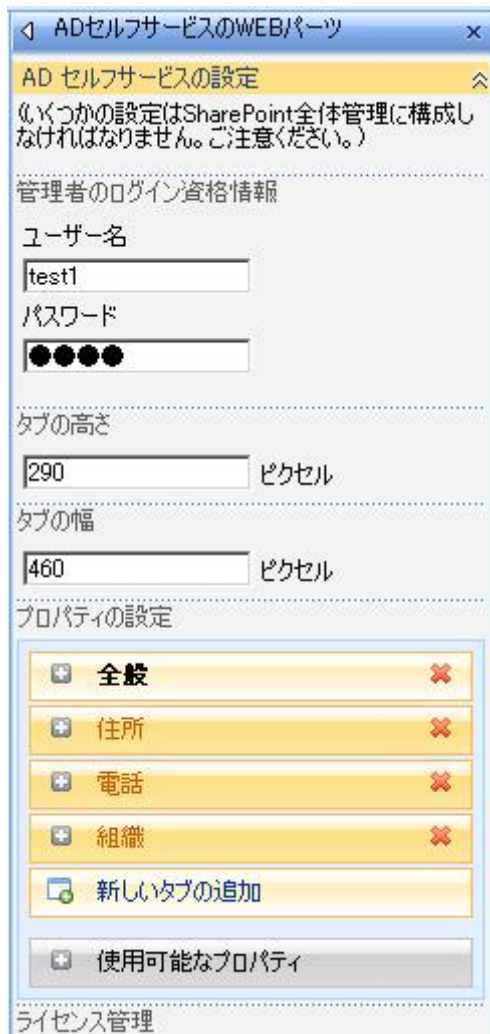
WEBページ: www.sharepointboost.com その他...

保存 キャンセル

ユーザー情報の読み込みに失敗しました。ADセルフサービスのアカウント設定を確認してください。詳細: General access denied error

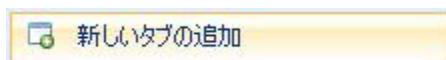
Web パーツ レイアウトと AD プロパティの設定

初期設定中、AD セルフ サービスは四つのタブを提供し、すべての既定の AD プロパティが含まれます。



タブの管理

新しいタブを作成するには、新しいタブの追加をクリックします。



このタブをシングル クリックして、タブ名を入力できるようになります。タブ名を入力して確認のためにエンターキーを押します。



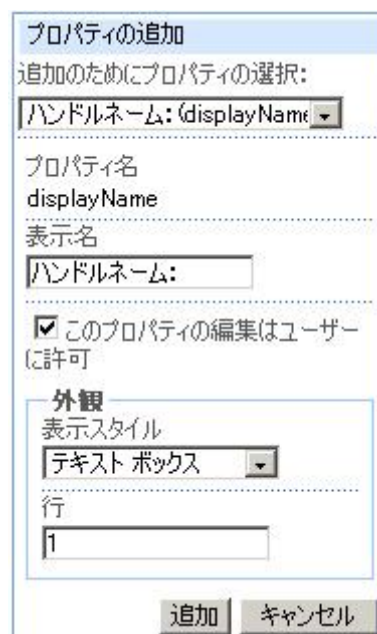
現在の表示名の変更も易しく操作できます。ユーザーは変更したいタブの名前をクリックして、このフィールドは編集可能になります。

プロパティの管理

新しいプロパティを追加するには、管理者は各タブ下の利用可能な「新しいプロパティの追加」ボタンをクリックします。



後で、新しいボックスはツールウィンドアに表示します。このボックスで管理者はプロパティを選択できるようになります。そして、選択したプロパティの設定もカスタマイズできます。



プロパティの選択ドロップダウンリストに利用可能な AD プロパティをすべて表示します。全体管理に構成され、web パーツを構成するときに使用されていない AD セルフ サービスの設定が含まれます。



すべての使用可能なプロパティのリストは使用可能なプロパティフィールドに表示します。全体管理に指定されたAD情報とこのwebパーツの設定から削除されたAD情報が含まれます。



このwebパーツからADプロパティを削除するには、ADプロパティの右の赤い「X」をクリックするだけです。



確かに削除するかどうか確認するためのポップアップウィンドウは開きます。削除する場合には、OKをクリックします。



プロパティの詳細を表示するには、ADプロパティの右の下向き矢印をクリックします。

住所

町/村: ▼ ✕

郵送ボックス: ▼ ✕

市: ▼ ✕

県: ▼ ✕

郵便番号: ▼ ✕

国/地域: ▼ ✕

☐ 新しいプロパティの追加

このプロパティの詳細は表示されます。

市:

プロパティ名
|

表示名
市:

このプロパティの編集はユーザーに許可

外観

表示スタイル
テキスト ボックス ▼

行
1

プロパティを読み取り専用にするには、管理者は「このプロパティの編集はユーザーに許可」前のチェックボックスを空白にします。こうして、このプロパティは表示されますが、編集不可能になります。

市:

プロパティ名
|

表示名
市:

このプロパティの編集はユーザーに許可

外観

表示スタイル
テキスト ボックス ▼

行
1

外観の設定で管理者がユーザーの AD プロパティ情報の入力方法を指定できるようになります。ドロップダウンメニューにテキストボックスが選択されたら、管理者は入力欄の行数も指定できます。

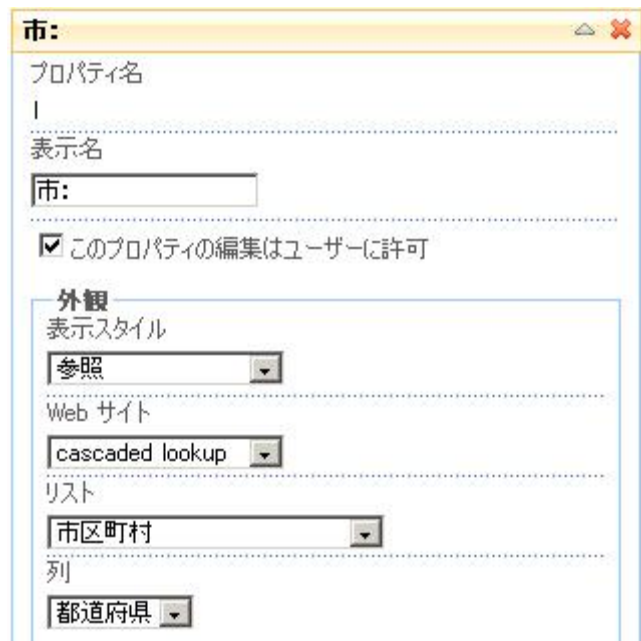
ドロップダウンリストが選択された場合には、外観設定部分はセットボタンを提供します。このボタンをクリックして値を指定できます。

The screenshot shows a configuration window titled "市:". It contains several fields: "プロパティ名" (Property Name) with the value "市:", "表示名" (Display Name) with the value "市:", and a checked checkbox "このプロパティの編集はユーザーに許可" (Allow user editing of this property). Under the "外観" (Appearance) section, the "表示スタイル" (Display Style) dropdown is set to "ドロップダウンリスト" (Dropdown List), and the "リストの値" (List Values) field is empty. A "セット" (Set) button is located below the list values field.

セットボタンをクリックすると、一つのポップアップウィンドアが開きます。このウィンドアに管理者はドロップダウンリストに利用可能な値を指定できます。必要な場合には、プロパティを変更、削除することもできます。

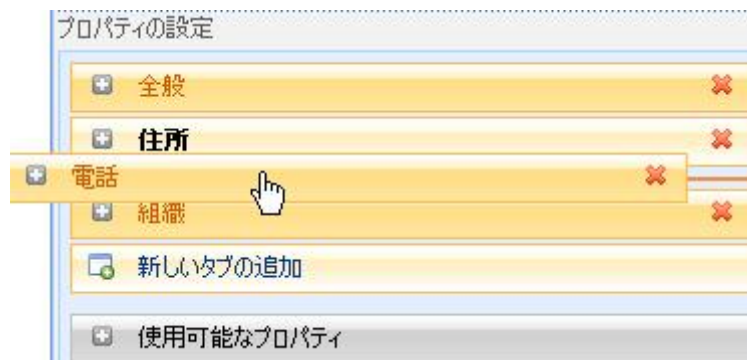
The screenshot shows a dialog box titled "List Values -- Webpage Dialog". It has a "新しい値:" (New Value) field containing "千葉" (Chiba) and a "現在の値:" (Current Values) list containing "東京" (Tokyo), "大阪" (Osaka), "名古屋" (Nagoya), and "横浜" (Yokohama). There are buttons for "追加" (Add), "削除" (Delete), and "編集" (Edit). At the bottom are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

参照先としての列を指定するオプションも提供します。



管理者はサイトコレクションにの任意のサイト、任意のリストを参照先として選択します。すなわち、すべてのこのフィールドに利用可能な値はドロップダウンでユーザーに表示されます。

AD セルフ サービスは web パーツの設定を構成する時にアイテムはドラッグ アンド ドロップされできます。このことで、レイアウトとタブとプロパティのセットアップは易しく変更できます。




AD セルフ サービスに AD プロパティの変更

この web パーツとアカウント情報を構成した後で、SharePoint サイトコレクションユーザーは AD セルフ サービス web パーツを使用して自分の AD 情報を変更できます。

例えば、田中さんはサイトページにログオンして、AD セルフ サービス web パーツは自動的に彼の AD 情報を表示します。彼は管理者に行われた設定に基づいて自分の AD 情報を変更できます。Active Directory ページの AD 情報は同調に変更されました。

ADセルフサービスのWEBパーツ

全般 住所 電話 組織

 nakamura

名前:

氏名:

説明:

事務所:


電話番号:

Email:

WEBページ:

中村 次郎 Properties

Member Of | Dial-in | Environment | Sessions
Remote control | Terminal Services Profile | COM+
General | Address | Account | Profile | Telephones | Organization

 中村 次郎

First name: Initials:

Last name:

Display name:

Description:

Office:

Telephone number:

E-mail:

Web page:

